

横浜市野庭地区センター 指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録要旨	
開催日時	平成27年8月7日（金） 9時30分から11時30分まで
開催場所	区役所別棟301会議室
出席者	藤崎委員長（横浜市立大学准教授） 井出委員（永谷連合町内会副会長） 小野委員（港南区「街の先生」の会会長） 嶋田委員（港南区スポーツ推進委員連絡協議会会長） 新委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士） ※肩書は、委嘱当時のものになります。
傍聴者	なし
議 題	横浜市野庭地区センターの指定管理者の選定について 1 面接審査 2 審議
面接審査 及び 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ> ・類似の公の施設の管理運営の実績が多くあり、着実に利用者を増やしている。 ・滞在型地区センターを目指し、人々の絆を強めるとともに魅力的な事業を展開し生きがいを育む。 ・バリアフリーを基調としFAX等を活用した2か月前仮予約制度を実施。 ・館内は明るく清潔に保ち、利用者がくつろげるコミュニティカフェを設置。 ・地域の人々のネットワークを構築し防災・防犯・高齢者の孤立化・子育て不安などについて協働し地域の絆や連帯を強める。 ・Wi-Fiを導入し、ロビーなどで無線欄を自由に利用可とする。 ・「親子でワッと遊ぼう!」「新発見わが街こうなんウオーキング」など魅力ある自主事業を提供。 ・新規にウォシュレットや大型ロッカーを設置。 ・施設運営全般の効率的執行を行い、指定管理料の上限額から737千円を減額。 <一般社団法人 こうなん区民利用施設協会> ・協会傘下10施設の総合力と協会の強みを発揮し地域の活性化や地域のつながりに貢献。 ・勤務体制については、スタッフ交代時に15分の引き継ぎ時間を設け、伝達事項や供すべき事項に漏れが生じさせない。 ・安全安心な地域の居場所を提供し、つながり・連携・協力が地域の活性化、賑わい、交流の架け橋となる地区センターを目指す。 ・近隣団地を中心に、ポスティングや街頭配布等積極的な情報発信を行うとともにイベントの開催をとおして新規利用者の開拓を行い、施設の利用促進につなげる。 ・アウトリーチ活動として、交通が不便な自治会館や福祉施設等への訪問活動を行う。 ・キャンペーン割引・期間割引等の各種割おびき制度の導入により利用の拡大を図る。 ・本のリサイクルコーナーの設置や地産地消促進の野菜即売会の開始や3か月前から仮予約できるように予約制度を見直し、利用者サービスの向上に取り組む。 ・ムリ・ムラ・ムダのない施設運営を行い、経費の節減につなげる。

面接審査 及び 審議	<p>2 審議</p> <p>横浜市野庭区地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、2者が同点だったため、1位をつけた委員が多数をしめた一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定し、特定非営利活動法人こらぼネット・かながわを次点候補者とした。</p> <p><委員の主な意見></p> <p>(1) 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェの設置など、滞在型地区センターを目指すことや65歳以上の雇用についても評価できる。 ・神奈川区等で類似施設の管理運営実績があり着実性がある。 ・利用者に便利な電話やFAXを使つての予約システムは評価できる。 ・自主事業においては、孤立防止策や認知症候講座など高齢者に対しての配慮の視点が具体的でしっかりしている。 ・ケアプラザとはきめ細かな連携が必要かと思うが、どう連携していくのかが見えづらく物足りなさを感じた。 ・提案内容は素晴らしく、指定管理料の低減にもつながっているが、人件費の圧縮分でもっとサービスを充実させた方が良いのではないか。 ・提案内容が充実しており、新たなセンターへの期待感がある。また利用料金の設定根拠も明瞭であり収支予算の実現可能性が高い。 ・財務状況については、NPO設立以来堅実な運営姿勢が伺え、コンプライアンスの面でも評価できる。26年度末の正味財産からみても安定経営が可能である。 <p>(2) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設との連携を図るとともに、ケアプラザや地域を取り込んで事業が行われているのが評価できる。子どもの笑顔などに、利用者の目線に立った運営が反映されている。子どもの目線に立った絵本コーナーの工夫も評価できる。 ・地元のニーズを把握し、多岐にわたって対応しており、地元目線での運営に結びついている。 ・利用者目線の設備導入や利用者の要望を取り入れた予約制度の見直しも評価できる。 ・館長の人柄の良さや穏やかさが伝わり、職務に励んでいるのがよく分かる。館長を中心としての企画に魅力を感じる。 ・館長の人柄が良いとは思いますが、異動があった場合はどうなるのか心配ではある。 ・地域交流を重視する姿勢が伝わってくる。継続した場合は、さらなる工夫を望む。 ・20年の実績に裏打ちされた安定感がある。 ・提案では利用者数の推移の予測がなく、予算の積算根拠が大ざっぱなので、もう少し細かく積算してもらいたかった。 ・財務状況については、問題のない法人であるが、財務書類の作成管理体制に課題がある。
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市野庭地区センター指定管理者の指定候補者とする(622点/750点)。 ・特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ(622点/725点)を次点候補者とする。
特記事項	